

第96回実践勉強会 実施レポート

平成30年6月12日 大田文化の森 多目的室

座長 中畔 勇一

製品紹介 19時45分～19時55分

共催会社情報提供：「ボンビバ錠・エディロールカプセルについて」ファイザー製薬株式会社

講演 19時55分～21時15分

『腎不全に対する生涯医療～腎臓内科の立場から～』

東邦大学医療センター大森病院 腎センター 澁谷 正樹先生

『腎不全に対する生涯医療～腎臓外科の立場から～』

東邦大学医療センター大森病院 腎センター助教 兵頭 洋二先生

参加者 108名

Q&A

質問①：何らかの腎症があると妊娠関連リスクはあるのか

回答①：腎症のコントロール具合にもよるが、健常者と同等かリスクが高いと考えてよい

質問②：IgA腎症の原因や発現タイミングは

回答②：もともとIgA腎症がある状況で、感染症を契機に急性増悪した結果、血尿などが

発現し診断されるケースが多い

質問③：移植関連の免疫抑制剤に関して後発品へのスイッチについて何かデータはあるか

回答③：先発品と後発品を直接比較した具体的なデータ（EBM）はないのではっきりとは

答えられない部分もあるが、先発品の免疫抑制剤に関しては臨床データに基づいてTDMや患者への服薬指導等を通じて有効性（移植腎の生着と抗体産生抑制の為）と安全性（薬剤の副作用発現リスク最小化）のバランスを最大化できるよう用

量調節に努めている。移植腎をダメにしない為にも免疫抑制剤には最大限注意する必要がある。

また、移植患者さんはこだわりの強い方もいるので変化を好まない方も多いため、総合的に使い慣れている、様々なデータが豊富である先発品を使用している現状である。